

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 乳房超音波エラストグラフィ検査の Fat Lesion Ratio (FLR:脂肪と病変の歪み比)の精度に関する研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 乳腺内分泌科 (研究責任者)原 由起子</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2022年 3月 31日</p>
<p><研究の目的と意義> ストレインエラストグラフィ検査は、超音波検査施行時に、体表面より手でひずみを与え、病変の硬さを画像化、数値化するものです。その数値は Fat Lesion Ratio (FLR) と呼ばれる脂肪と病変の歪み比で評価されます。FLR は病変の大きさ、深さ等により精度が異なることが想定されます。しかし、その精度に関しての検討はほとんどなされていません。今回、当院で行ったストレインエラストグラフィ検査の、病変の深さや大きさなどによる検査精度の違いを研究し、今後のより精度の高いエラストグラフィ検査の実施につなげる予定です。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> ①研究対象者基本情報:年齢、性別、身長、体重、診断名 ②エラストグラフィ検査施行時の超音波所見</p>
<p><対象となる患者さん> 西暦 2016年 1月 1日~西暦 2019年 12月 31日間に日本大学医学部附属板橋病院乳腺内分泌外科科で乳房超音波の B モード検査で乳房腫瘍を指摘され、エラストグラフィ検査を追加し、生検を行い病理学的診断が得られている症例を対象とします。</p>
<p><研究の方法> 乳房超音波検査 B モードで指摘された乳房腫瘍の大きさ、深さなどを検討し、それらのエラストグラフィ検査で測定した FLR の値を調べます。それらの結果と、病理検査結果を検討し、感度、特異度について検討します。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 乳腺内分泌外科 氏名:原 由起子 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2450 (PHS)8533</p>